

2022年度 タスクフォース 新任知財担当者向け交流・研修TF



2023年3月9日

新任知財担当者向け交流・研修TF リーダー
佐々木 雄高
(アルプス(中国)有限公司)

■参加企業：11社11名

京瓷（中国）商贸有限公司
村田（中国）投資有限公司
東芝（中国）有限公司
三菱重工業（中国）有限公司
本田技研工業（中国）投資有限公司
威可楷（中国）投資有限公司
矢崎（中国）投資有限公司
安川電機（中国）有限公司
万代南梦宫（中国）投资有限公司
武田（中国）投資有限公司
アルプス（中国）有限公司

(順不同)

1. テーマ

中国知財を担当する中での**悩み（課題）**を共有し、**解決手法**を得ていくこと、
その成果を参加者（誰もが）得られるようにしていくこと

課題

日本には中国における知財関連情報が少なく、知財担当を任せられた当事者は、**中国現地で情報収集から業務を始めるケースも多い**と聞く。また他企業との交流を主体とした情報収集の機会も少ない。中国駐在の新任者にとって、効率的な情報収集、および先行者との交流・意見交換等の場は、知財活動を一から進めていく上で価値があると考えられる。

目的・目標

- ：中国での知財活動における課題を、早く、広く気づける。
- ：気づいた課題に対する解決手法を早く得ることができる。
- ：課題解決手法を外部から得るための情報ネットワークを早期に構築できる。

一連の活動を通じて**参加者（誰もが）**上記成果を得ることができる、
プラットフォームとしての機能実現を目指す。

2. 今年度の活動内容

過去TF活動確認、各社状況共有、課題形成から活動をスタート

新人TF過去活動実績

■ 2020年度

- ・課題検討リスト作成
- ・知財情報リンク集作成
- ・ベテラン駐在員へのヒアリング
(4社、4回実施)

■ 2021年度

- ・日系企業現地企業中国人
責任者へのヒアリング
(4社、2回実施)

過去活動
成果を生
かしつつ



2022年度活動計画

各社状況共有、課題形成	4月～6月
企画準備	7月～9月
企画実施 2回以上 (予定)	10月～12月
各社会社紹介、個別テーマ議論	毎月

4月～6月

7月～9月

10月～12月

1月～3月

各社状況共有

課題形成

企画準備

企画実施①

企画実施②

各社会社紹介

個別テーマ議論

2. 今年度の活動内容

STEP1：各社状況共有、課題形成

- (1) 会合内で各社が取り組みたいテーマの議論
- (2) 活動内容アンケート、各社プロファイル資料の共有

まずは、
参加者の思いを
聞く

2022年度は新しく駐在した参加者多く、
「中国ならではの価値は何か？」を議論の中心テーマに決定

STEP2：企画検討、実施

- (1) 現地代理人（準会員）へのヒアリング
中国のプロフェッショナルである代理人の立場からの意見等をヒアリング
- (2) 個別テーマについて各社情報共有、議論
新人TF参加者内で具体的なテーマの情報交換
- (3) 現地企業との意見交換：3月開催予定
業務の優先度や知財部門の成果等、現地企業の価値観等を意見交換

課題解決に
向けて企画実施

2. 今年度の活動内容

(1) 準会員へのヒアリング

準会員へのヒアリング（特許事務所）を2回開催

日程	ヒアリング先
2022年11月16日	上海光華特許事務所
2023年1月15日	紫藤知识产权集团（深圳）有限公司

内容：

- ①.事務所ご紹介
 - ②.中国代理人から見た日系企業へのアドバイス
- TF質問への回答（人材育成、知財リスクへの対応等）

2. 今年度の活動内容

(2) 個別テーマについて各社情報共有、議論：5テーマ実施
各回の担当会社が各社状況を紹介し、その後質疑応答、議論

日程	テーマ
2022年10月	人材流動性の高さ、人材育成(現地スタッフの業務)
2022年12月21日	本社へのアピール、中国社内アピール 中国ならではの価値（中国だけでやっていること？）
	証拠収集について
2023年1月18日	知財管理、リスク対応
	現法ガバナンス

3. 1年間の成果

中国知財を担当する中での**悩み（課題）**を共有し、**解決手法**を得ていくこと、
その成果を参加者（誰もが）得られるようにしていくこと

目的・目標

- ：中国での知財活動における課題を、早く、広く気づける。
- ：気づいた課題に対する解決手法を早く得ることができる。
- ：課題解決手法を外部から得るための情報ネットワークを早期に構築できる。

一連の活動を通じて**参加者（誰もが）**上記成果を得ることができる、
プラットフォームとしての機能実現を目指す。



企画準備：課題議論（会合6回）、各社会社紹介11社

企画実施：準会員ヒアリング（2回）、個別テーマ議論（5テーマ）
現地企業との意見交換（1回）

→上記活動をつうじて、新人TF参加各社が目的・目標の達成を図つていけた

2023年度も新任知財担当者向け交流・研修TFは継続いたします。ご参加をお待ちしております。